

◎対応可能な医療処置

○:対応可能 △:要相談 ×:対応不可

インスリン	○	9時～18時内での看護師による施行が可能です。1日3回の摂取で朝食前後の施行が必要な方は、9時以降の摂取、もしくは施行回数について調整が必要となります。 ※基本的に1日2回の施行
在宅酸素	○	対応可能です。施設医経由で酸素業者を手配させていただきます
胃ろう	△	1日2回以下の施行、シリンジでの手注入を基本に、上限4名までの受け入れを実施いたします
人工透析	△	かかりつけの透析病院による24時間連絡、緊急対応可を原則に、お受け入れを実施いたします
IVH (中心静脈栄養)	△	感染症の合併リスク、点滴施行時の抜去リスクが無い(医療機関での対応の必要性が無い)ことを前提に、お受け入れを実施いたします
たん吸引	△	R4/3/1時点においては、日中(9時～18時)看護師によるたん吸引のみ実施可能となっております
バルーン (尿道カテーテル)	○	対応可能となっております
ストマ (人工肛門)	○	対応可能となっております
褥瘡	△	基本的に対応可能となっております。ステージⅢを超える褥瘡(真皮を超える傷)は医療機関での処置が必要となります

◎日常生活における体調不良時の基本的な対応

発熱	38℃以上の発熱でカロナール(解熱剤)の服用を基本とします。 平温～37℃台ではクーリング(頭部、腋下、鼠径部)を実施いたします。
便秘	排便なし3日目にピコスルファート(下剤)を服用 排便なし4日目に浣腸もしくはレシカルボン座薬の施行
酸素濃度低下	血中酸素濃度(SPO2)90%以下で酸素3ℓを施行 97%を維持できるよう酸素量を調整

※上記のみに限らず、個別処方や個別の指示に応じて医療処置・対応を実施いたします。